

令和3年度

鳥獣被害と自治体の対応

野生鳥獣による農作物被害額は、年間150億円を超えており甚大です。近年、抜本的な捕獲強化に向けた対策を講じるものの、その被害は依然として高い水準にあります。鳥獣被害は、営農意欲の減退、耕作放棄地の増加等をもたらし、農山村に深刻な影響を及ぼしています。

このような中、効果的な被害対策を図るには、地域の実情に応じて、「個体数調整」「被害防除」「生息環境管理」の3つを適切に組み合わせた総合的な取組みが重要となります。

本研修では、総合的な獣害対策とはどのようなものか、考え方や実例を通して学ぶとともに、受講者同士の意見交換なども通じて、地域の実情に応じた被害対策について考察します。

開催要領

日 程

令和4年1月26日(水)～1月28日(金)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

鳥獣被害対策に携わる市町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
 ※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
 なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年12月10日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和4年

1月

26日(水)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講・オリエンテーション

13:00~15:35
講義 **野生動物による農林業被害について(経過／歴史)**

NPO法人 Wildlife Service Japan 理事長 森元 萌弥 氏

野生動物による農林業被害の背景や経緯について学び、現状の問題点や必要な視点についてお話しいただきます。

15:50~17:00
グループ討議／意見交換

NPO法人 Wildlife Service Japan 理事長 森元 萌弥 氏

受講者同士で各自治体の取り組みや課題を共有し、それぞれの自治体に合った効果的な施策や事業の実施方法について考えます。

17:30~
交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~12:00
講義 **野生動物から農作物を守る(行動／防御のポイント)**

麻布大学 生命・環境科学部 教授 江口 祐輔 氏

動物の行動・生理を生かした効果的な防ぎ方や捕獲の考え方と手法についてお話しいただきます。

13:00~14:10
事例紹介 **日本のジビエの正体と、地域振興**

島根県美郷町山くじらブランド推進課 課長 安田 亮 氏

コーディネーター:麻布大学 生命・環境科学部 教授 江口 祐輔 氏

昨今、華やかなジビエブーム。その裏側で起きている地方の獣害対策の実態と人々の暮らしから、「誰のためのジビエなのか?」を問いながら、ジビエと地域振興について考えます。

14:25~15:35
事例紹介 **鳥獣被害対策の取り組みについて**

大分県農林水産部森との共生推進室 主幹 河野 貴可 氏

コーディネーター:麻布大学 生命・環境科学部 教授 江口 祐輔 氏

7年連続で鳥獣被害額が減少した大分県の取り組みについて、市町村との連携や集落ぐるみの被害対策、さらにそれらを進める人材育成等の詳細をご紹介します。

15:50~17:00
演習 **質疑応答/意見交換**

麻布大学 生命・環境科学部 教授 江口 祐輔 氏

講義・事例紹介の内容を振り返り、受講者同士の意見交換や講師への質疑を通して、理解をより深めます。

9:25~12:00
講義 **地域社会のための獣害対策
(地域と行政の役割／総合的な獣害対策のための合意形成手法とは)**

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 山端 直人 氏

鳥獣対策のランドデザインや意義、また地域の合意形成を得るための手法についてお話しいただきます。

12:00~12:30
ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和4年

1月

28日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。